

第 62 号

大阪市史跡 龍溪禪師墓所 霊亀山 **九島院**

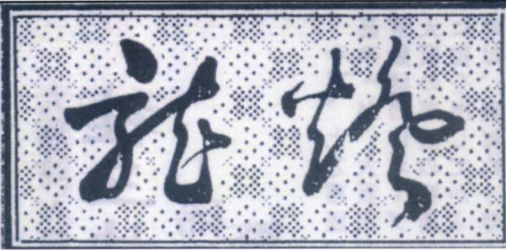
〒550-0022 大阪市西区本田3丁目4番18号
Tel 06 (6583) 2725 FAX 06 (6583) 0908

発行所

発行者

第廿五代住職

奥田 啓知 (智證)



当院は、阪神なんば線で、なんばから7分です。

天使の歌声『紅白歌合戦』で初披露

差別するところをなくせ！

昨年大晦日の第60回NHK紅白歌合戦では、イギリス人女性で歌手スーザン・ボイルさんがゲスト出演。企画コーナーで世界中を魅了した注目の歌声を日本で初披露しました。

彼女は、昨年4月に英国のタレント発掘番組に出演しました。野暮ったい姿でステージに現れたとき、審査員と観客の反応は冷やかでした。

ところが、ボイルさんが、ミュージカル「レ・ミゼラブル」の挿入歌「夢やぶれて」を歌いはじめると、あまりに美しい歌声に、会場は騒然となりました。

その映像が動画サイト「ユーチューブ」に投稿されるやクリック数はたちまち数万件に達しました。

彼女の自宅には、各国メディアの取材が殺到するなど、ブームを超えた社会現象になり、今回の紅白の企画となったそうです。

「分別」という日常語があります。物事の是非、道理をわきまえるといった意味で、いい意味で使われています。「無分別」はいけない

ことなのです。しかし、仏教では逆に「分別」はいけないことで、「無分別」がいいことなのです。

仏教は私たちに、「分別するな」と教えています。私たちはどうしても事物を「差別」の目で見てしまいます。仏教語では「差別」を「しゃべつ」と読みますが、大きい・小さい、長い・短い、益虫・害虫、良い子・悪い子、美人・ブスなどと差別をしています。何も区別する必要のないものを、人間が自分勝手に区別し、その区別にこだわっていることが「差別」なのです。

ありのままに事物をみることを「如実知見(によじつちけん)」ともいいますが、私たちはその「差別」をやめて、「空(くう)」の立場に立つとき、はじめて事物をありのままに見れるのです。

最近では管弦楽団に女性のトランペットやホルンなどの金管楽器の奏者はいませんが、以前は殆どいなかったそうです。

それは、金管楽器のように肺活量

の必要な楽器は女性では無理だと思われていたためでした。

奏者の採用方法が変わり、受験者の性別・容姿などを審査員には知らせずに演奏させ、吹いた楽器の音色で可否を決めたところ、女性が増えたのだそうです。

「差別」をやめ、こだわりを捨てれば真実が見えてくるのです。音楽は容姿ではないのです。セクシーな容姿の持ち主ではないと歌手になれない風潮は間違っているのです。

だから、見た目の冴えない48歳の普通の女性が、ひとたび「夢やぶれて」の楽曲を歌いだすと、澄んだ歌声と圧倒的な声量で力強いメッセーヂを伝える歌唱力に約三千名の聴衆が総立ちになり、熱狂的な拍手を贈ったのです。



